

内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 22 年 6 月 東北分 (新潟を含む東北 7 県) について

1. 今月のDI※

(1) 現状判断 (方向性) DI

3 か月前との比較である現状判断DIは、48.6 (前月比+1.8ポイント) と、前月を上回るものの、横ばいを示す 50 を平成 19 年 4 月以降 39 か月連続で下回った。

	21年												22年			
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
東北現状	38.5	39.7	40.2	39.0	42.2	38.8	29.5	31.2	35.3	39.5	46.2	49.4	46.8	48.6		
家計動向関連	40.3	39.6	39.1	36.9	42.0	37.1	27.4	29.5	34.3	38.4	45.4	46.9	44.3	48.3		
企業動向関連	38.4	42.1	47.0	46.3	40.9	43.1	35.3	35.0	40.6	43.9	49.4	56.9	53.1	47.4		
雇用関連(参考)	26.3	35.7	34.5	38.1	46.3	41.7	32.1	35.7	32.1	37.5	45.5	51.2	51.2	52.4		

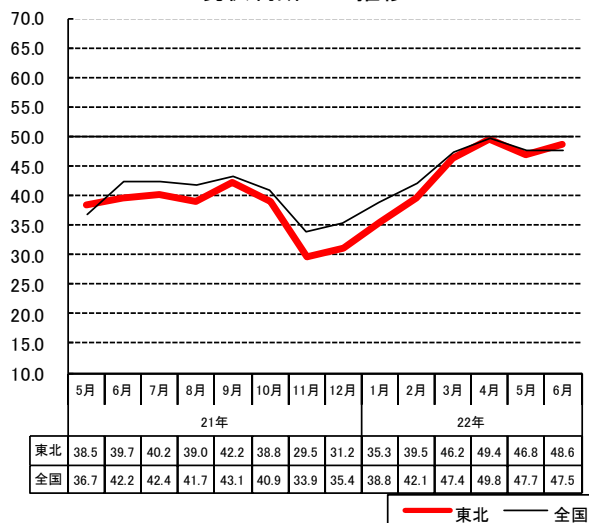
(2) 先行き判断DI

3 か月先を予想する先行き判断DIは、47.4 (前月比+0.1ポイント) と、前月とほぼ変わらず、「横ばい」を示す 50 を 2 か月連続で下回った。

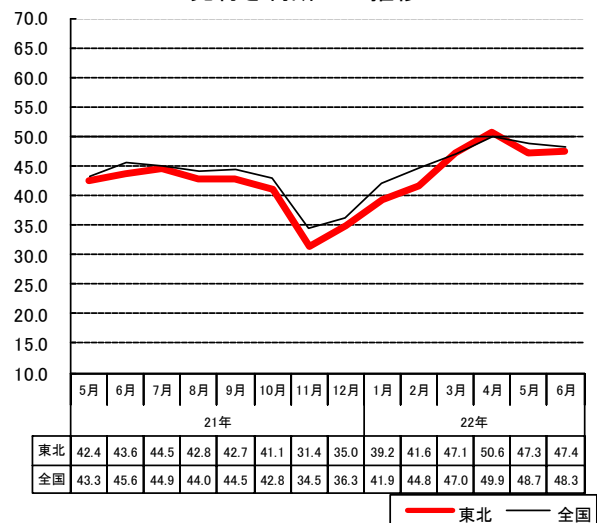
	21年												22年			
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
東北先行き	42.4	43.6	44.5	42.8	42.7	41.1	31.4	35.0	39.2	41.6	47.1	50.6	47.3	47.4		
家計動向関連	43.1	42.4	43.1	42.3	42.5	40.4	30.9	33.6	38.3	40.3	46.5	50.4	46.3	46.5		
企業動向関連	42.7	47.0	47.0	45.0	42.1	41.9	32.1	36.9	45.0	45.1	48.1	50.6	49.4	47.4		
雇用関連(参考)	37.5	44.0	48.8	41.7	45.0	44.0	33.3	40.5	33.3	43.8	48.9	52.4	50.0	53.6		

※DI (Diffusion Index) について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

現状判断DIの推移



先行き判断DIの推移



景気ウォッチャーの判断によれば、東北地域の景気は、
依然として厳しいものの、一部に持ち直しの動きがみられる、とのことである。

2. 調査の概要

調査期間 平成 22 年 6 月 25 日～平成 22 年 6 月 30 日

回答者数 194/210 名、回答率 92.4% (全国 1,851/2,050 名、90.3%)

3. 特徴的と思われる判断理由 (ウォッチャーのコメントから抜粋)

(1) 現状判断理由

○「良くなっている」

(人材派遣会社) …求人数の問い合わせが増加している。

○「やや良くなっている」

(百貨店) …海外ブランド商品の好調が続いており、ブランドによっては前年の売上を上回っている。

(スーパー) …子ども手当の支給により、限定的ではあるが子育て世代の消費動向がプラスに動いている。

(コンビニ) …販促セールにより来客数は前年並みにまで回復しており、気温が高めに推移していることで飲料水の販売量が増加している。

(乗用車販売店) …自治体のエコカー購入補助金の駆け込み需要が見られる。

(一般レストラン) …ランチタイムの客に動きがみられ、来客数が増加している。

(旅行代理店) …地域により差はみられるものの、海外旅行の申込は前年を上回っている。

(建設業) …新築工事を見送る客は多いが、生活の不便不安を解消するためのリフォーム工事は増加している。

(広告業協会) …流通関係の出稿が前年より増加していることから、テレビ広告の動きが少し良くなってきている。また、新規オープン店、既存店共にテレビ広告を出し始めており、景気が持ち直してきている。

(人材派遣会社) …欠員補充のみならず、必要に応じた増員の求人が徐々に増えている。

○「変わらない」

(商店街) …物販店、飲食店共に依然として来客数、客単価が低迷している。物販店では中元セールを前に買い渋りや品定めをしている様子がみられる。

(カメラ販売店) …キャッシュバックキャンペーンがある高額品の売上は好調に推移しているが、客は一定の機能があれば低価格の商品を購入する傾向にある。

(百貨店) …暑い日が続き夏物セールが始まっているため、月末にかけて衣料品の動きが良くなっている。特に得意客はまとめ買いが多いため、買上単価が上昇している。ただし、フリー客は単品買いが多く、買物の仕方にはっきりとした違いが表れている。

(スーパー) …競合店の特売が激しくなり、来客数の前期割れが続いている。また、特売品目当ての客の買い回り傾向がより強くなっている。

(一般レストラン) …夜間の来客数が前年比 15～20%減で推移しており、苦しい状況は変わらない。

(観光型ホテル) …団体客数や宴会時の飲み放題メニューの注文、芸子の入る回数が増加するなど多少活気が見られたものの、売上は横ばいで推移している。

(遊園地) …一般客の来客数は弱含んでいるが、学校団体は例年並みを確保している。

(一般機械器具製造業) …自動車部品の受注量は国内向け、海外向け共に増加傾向にある。

(金融業) …公共工事の減少や住宅着工の低迷により、依然として建設業界は苦しい状況にある。

(人材派遣会社) …求人数の低迷に加え、求人、求職のニーズにミスマッチが生じている。

(職業安定所) …製造業、運輸業の新規求人は前年を上回っているものの、企業ごとに状況は異なる。一方、求職者は在職者からの応募も増加しているため、有効求人倍率が改善していない。

○「やや悪くなっている」

(医薬品販売店) …消費者の低価格志向が進み、競合店との価格比較が強まっているため、来客数が減少している。

(都市型ホテル) …総会を開催する団体数は前年並みで推移するものの、出席人数や2次会利用が減少したため、売上が落ち込んでいる。

(新聞販売店) …経済的理由から新聞購読を中止する人が増えており、折込チラシの動きも悪くなっている。

(コンビニ) …店舗周辺の事業所が閉鎖や移転しており、通勤時間帯の来客数が減少している。また、客単価は開店以来の最低水準に落ち込んでいる。

(衣料品専門店) …スーツを中心に動きがみられるものの、例年のボーナス商戦に比べて出足が遅く、いまだ客の波がきていない。

○「悪くなっている」

(タクシー運転手) …タクシー料金1,000円以上の客が1名という日もあるなど、遠距離の乗客が減少している。

(出版・印刷・同関連産業) …受注量の減少に加え、受注競争が激しいため受注価格は前年比で約10%低下している。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

(人材派遣会社) …新卒採用の問い合わせが増加傾向にあるため、景気回復が期待される。

○「やや良くなる」

(コンビニ) …低価格商品の品ぞろえを強化しているため、客単価は低迷しているが、来客数は前年並みをクリアしている。子ども手当による効果が出てきており、今後、消費は回復に向かう。

(衣料品専門店) …高単価商品が動き出したことに加え、買上点数も回復傾向にあり、確実に2年前の水準まで戻りつつあることから、今後の見通しは明るい。

(金属工業協同組合) …受注単価は依然として厳しいものの、半導体関連の受注量が増えており、しばらくは現在の状況で推移する。

(新聞社「求人広告」) …自動車関連の組立工場の本格稼働に伴い、求人数の増加が期待でき

る。

○「変わらない」

(商店街) …子ども手当が支給されても、貯蓄にまわる可能性が高いことから、小売店への効果はあまり期待できない。

(百貨店) …やや高額な商品の動きが良くなってきているものの、依然として客単価が低下しており、この傾向は今後しばらく続く。

(スーパー) …低価格の均一セールは好調だが、まとめ買いをする客が多く、セール以外の日の売上が落ち込んでいる。他社との価格競争も激化しており、今後も厳しい状況が続く。

(コンビニ) …店舗経営者の話からは、客の生活防衛意識に変化がないため、回復に向かうにはしばらく時間がかかる。

(衣料品専門店) …消費マインドは、徐々に回復するが、デフレ傾向はしばらく続くことから、単価上昇は期待できない。

(家電量販店) …エコポイントによる先行買いが見られるものの、終了する年末まで厳しい状況は変わらない。

(ガソリンスタンド) …参議院選挙に伴い、新たな景気対策はしばらく期待できないため、本格的な景気回復は冬の需要期までずれ込む。

(一般レストラン) …低温長雨の長期予報から、主力製品のビールを含めて売上が懸念される。

(観光型ホテル) …旅行マインドは多少向上してきているものの、デフレの影響から、客は単価を優先する傾向がみられ、今後もこの状況が続く。

(旅行代理店) …今後の予約状況は厳しく、販売量の回復は期待できない。

(食料品製造業) …原料価格は高止まりしているが、これ以上の上昇は考えられず、景気悪化の材料は見当たらない。今後、アメリカ産牛肉の輸入規制緩和が実施されれば、原材料価格の低下も期待できる。

(飲食料品卸売業) …低価格の飲食店が増加し、小売店の利益が圧縮され始めていることから、これまで以上に受発注が慎重になる。

(職業安定所) …新規求人数は、前年に比べ2か月連続の減少、有効求人数も減少傾向が続いている。さらに有効求人倍率も低下傾向が続いており、今後は予断を許さない状況となっている。

○「やや悪くなる」

(スーパー) …2次商圈内に競合店が2店舗オープンすることから、業績への影響は避けられず、今後は厳しさを増す。

(観光型旅館) …高速道路無料実験開始により、個人客の増加が見込まれるものの、団体客の回復には時間がかかる。

(一般機械器具製造業) …急激な円高や、エコカー購入補助金終了の反動による受注減少が懸念される。

(人材派遣会社) …労働者派遣法の改正に伴い、派遣業界のマーケットは縮小傾向が続く。

○「悪くなる」

(観光型旅館) …県内及び東北からの予約数が大幅に減少しており、今後も厳しい状況が続く。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上